ごあいさつ

本日は年末までのお忙しい中で本講習会にご参集をいただき、誠にありがとございます。

今年度、当会防犯防災部におきましては、大規模災害発生時に市民・住民が大怪我をしないための取組みの検討を柱の一つに掲げております。

その背景にあるのが、当風早北部地域を含めた旧沼南町を取り巻く医療機関の問題であります。柏市では首都圏直下地震などの大規模自然災害の発生時に、市内に点在する大規模総合病院である合計１０箇所の医療施設を「災害医療対応の医療機関」として指定し、これらの施設には、市内に散在する多くの医師や看護師が招集される体制となっています。こうした大規模医療機関がこの風早北部地域には一つもないため、当地域は災害時に医師や看護師が最悪一人もいなくなることになります。手賀大橋を渡り我孫子市側に向かえば、その先にはすぐに２つの大きな病院はございますが、肝心の手賀大橋が、災害時には緊急車両通行優先となり、一般車両は通れなくなります。すなわち、大きな災害が起きた際に大怪我をしてしまうと、平時では助かる命が助からない事態になるわけです。

柏市では数年前から市医師会等関係団体との協議を実施し、災害医療体制につき検討が進められていますが、当地域に大規模医療施設がないという本課題については、誠に遺憾ながら解決の糸口も見いだせていないのが現実であります。これ以上、この問題を市行政にこのまま委ねるのは非常にリスクがあるものと私どもは捉えています。

上記により、行政側に本件の解決を求めるとの強い思いは一旦鞘に収め、私たち住民自身で考えましょう（公助で解決が難しいのであれば共助や自助で対応しよう）との呼び掛けを基に、今回の「災害時に大怪我をしない」もその主旨で開催をさせていただきました。こうした情勢や背景などを何卒、本会場にご来場の皆さまでご理解をいただき、本講習会受講後は、同居のご家族やご近所さんにも何卒共有され、有事に皆さん方それぞれが命にかかわるような大怪我をしないよう、よろしくお願い申しあげます。

（配布教材やアンケート協力を依頼）

本日、講師をお願いしました「柏市防災研究会の松清智洋」さまをご紹介します。松清さまにおかれましては、防災活動の専門家として、２０１１年の東日本大震災、７年前の関東東北豪雨での茨城県内の鬼怒川水害の現場など、実際に大規模災害が発生した各地を訪ね、防災ボランティアとしてご活躍をされるなど豊富なご経験をお持ちです。柏市ではめったに起こらない大規模自然災害に対する知見を私たちに共有いただくなど、これまでに何度も防災を趣旨とする学習会、講習会においてご協力をちょうだいしております。本日も、何卒よろしくお願い申し上げます。

以　上

風早北部地域ふるさと協議会防犯防災部長
古山博之（ふるやまひろゆき）

本日の講習会の結果は、以下の手順で当会ホームページにアクセスして閲覧が可能です。１２月中旬（１５~１６日頃）には掲載する予定です。

① インターネット環境下で「https://kazakita.org」※にてアクセス
※または「風早北部地域ふるさと協議会」で検索
② 展開画面中の「防犯・防災」のアイコンをクリック（タップ）
③ 展開画面中の「防災」/「地域一斉防災訓練／各種講習会」のアイコンをクリック（タップ）
④ 本講習会の記載をクリック（タップ）　以上です